

向陽中学校学校だより



創造陽躍



☆目指す学校像☆

誰もが安心して過ごせる学校

☆目指す生徒像☆

自分で考えて行動できる生徒

【学校教育目標】

自律・貢献・共生

所沢市立向陽中学校

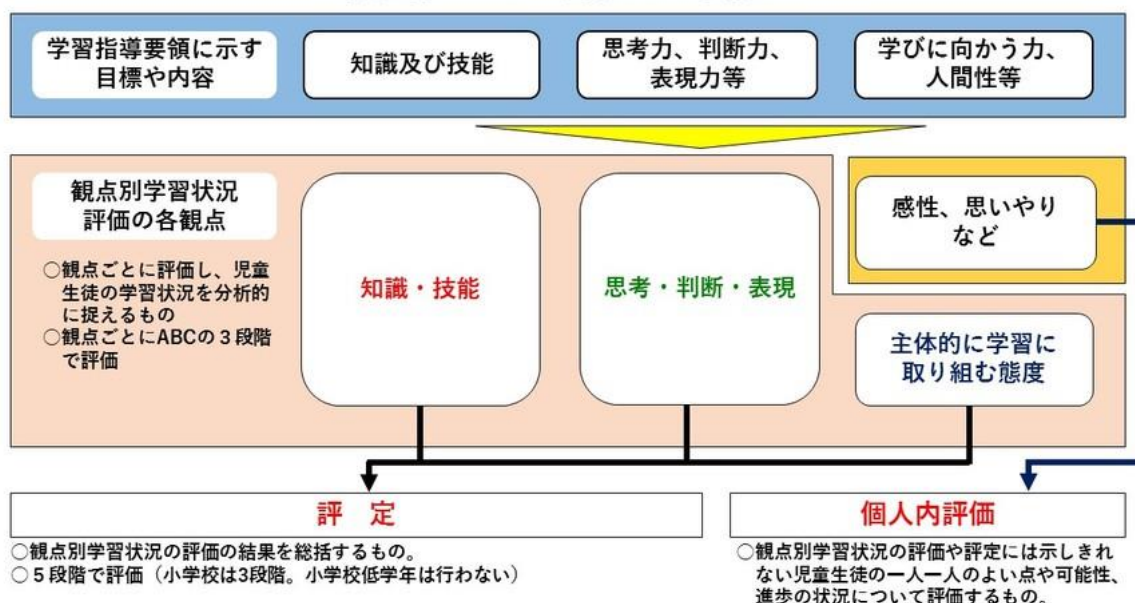
所沢市向陽町2124 Tel.04-2923-7201

令和4年度 第8号

10月3日(月)

各教科の学習評価～新学習指導要領施行2年目を迎えて～ 校長 沼田 芳行

各教科における評価の基本構造



平成29年3月に改訂された学習指導要領が全面実施され、今年で2年目を迎えました。学校ではひとり1台端末が活用されたり、単元（章）ごとに学びの進め具合を個々の生徒が道筋としてわかるようしたりして、ていねいに積み重ねをしているところです。

各教科の観点別学習状況の評価は上記の表にあるように「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」3観点です。各教科ではこの3観点の評価項目を学習のまとめ（単元や章）ごとに生徒に明示し、個々の学習状況を学期ごとに積み重ね、評価として、通知表でお知らせしています。昨年度もお話しましたが、かつての学校では、学期ごとに大きな括りのテスト（中間・期末テスト）を実施し、普段の授業での成果と併せて評価・評価としてきました。テスト前になると試験期間で部活動や諸活動を停止し、学習時間を捻出、テスト勉強をするというものです。昭和の世も、平成の世も、そして令和の世も節目ごとにテストがあって、学期が営まれていることは変わりません。ただ、その中身は学習指導要領の変遷とともに大きく変わっています。

新学習指導要領の趣旨を生かし、定期テストにこだわらず、単元（章）ごとのまとめで学習状況を見取り、評価として生徒にフィードバックしている中学校もあらわれてきました。

本校でも、この学習指導要領に合わせ、学習のまとめ（単元や章、題材）ごとに先ほどの3つの観点に照らし合わせた学習状況を各教科で明らかにしながら、各生徒の積み重ねを評価しています。単元テストを行ったり、課題レポートを提出したり、表現活動を取り入れたりしています。学習のまとめごとに生徒が学びの設計図を描き、進めたり、修整したりしながら各自が学びの道筋を振り返ることを可能にし、その理解を深めていく学び方を習得していることになります。